

# ★輝いています

高校から始めたテニス。ラケットを握らない日はほとんどないです。



せいぞう

● 藤田清三さん（姫小川町・67歳）

9月に仙台市で行われた全日本シニアソフトテニス選手権大会シニア男子65～69歳の部で優勝。

全日本シニアソフトテニス選手権は、以前から何度か挑戦し、上位入賞することはできたんですが、今回、やっと優勝という栄冠を勝ち取ることができました。一試合一試合、無我夢中に戦っていたら、いつのまにか優勝だった、そんな感じですよ。今回、全日本で勝つことができたため、来年10月に行われるアジア大会に出られることになりました。ぜひがんばりたいと思います。

テニスを始めたのは、高校生の時。当時はそれほどスポーツの種類がなかったもので、自分に合っているものを選びました。思い選びました。それから、50年になります。旅行など特別なことがない限りは、ラケットを持たない日がないというぐらい、毎日、テニスにかかわっています。現在は、週4日ほどコートに出て仲間たちと練習し、それ以外の日でも、走ったり、ひじ、肩、足を鍛えたりして、いつまでもできるように、テニスに打ち勝つ体力作りを毎日のように行っています。

もう、テニスは、わたしにとって生きがいです。今回のように大会で勝つこともうれいんですけど、それ以上



安城市ソフトテニス連盟会長

伊藤良平さん  
（錦町）



とにかくテニス一筋で、そのためなら日本中どこへでも行ってしまいます。彼も含め、安城市のソフトテニス界は大活躍の1年となりました。

に、健康な体でいられることが、テニスをやっていてよかったなあと感じる瞬間です。体力が続く限り、いつまでも現役であり続けたいと思っています。

